



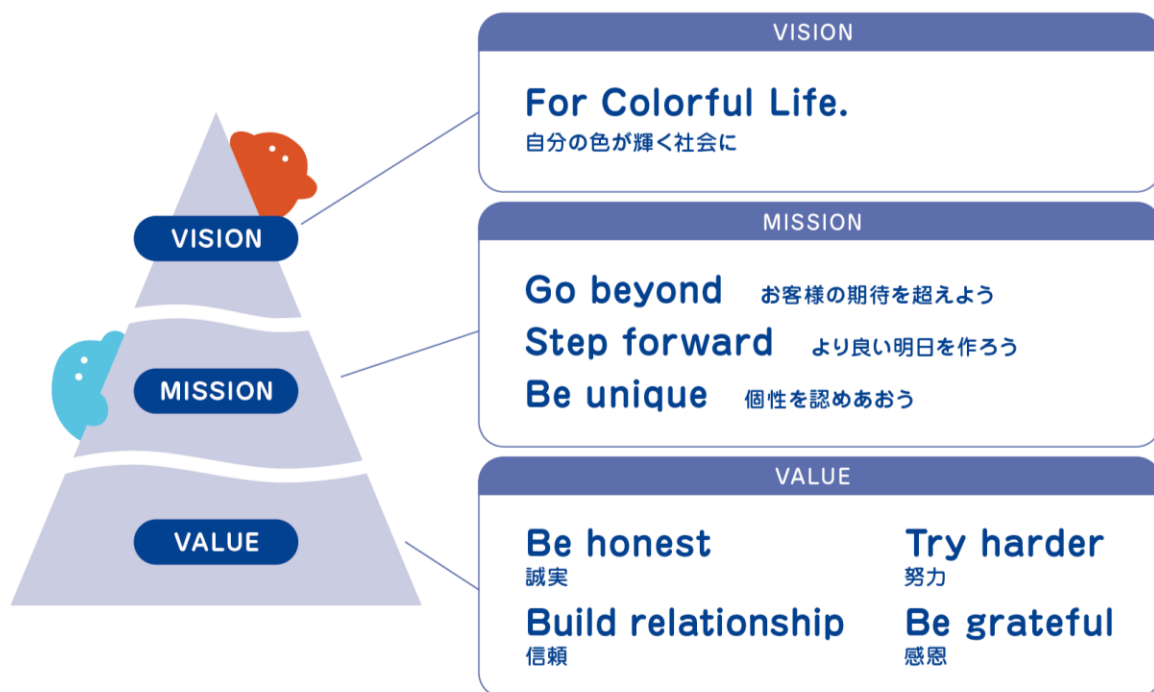
会社案内



「誠実な企業活動を通じて、社会より支持を得る」

アイフルグループでは、変わる事の無い根幹を成す考え方として、「誠実な企業活動を通じて、社会より支持を得る」を経営理念として掲げており、2021年4月、理念体系を再構築し、「VISION/MISSION/VALUE」を設計しました。

VISION / MISSION / VALUE



For Colorful Life.

自分の色が輝く社会に

生活にも仕事にも、自分らしさを。アイフルはひとりひとりの彩りで、社会をもっと輝かせていきます。あらゆる人が、自分らしくいられる未来を創造していくために。私たちは、その人らしい色を大切にします。



私たちは、「環境変化に応じた組織・制度の変革とデジタル技術の活用による、IT金融グループとしての成長」を目指します。

平素よりアイフルグループをご愛顧いただき、心より御礼申し上げます。

当社グループは「誠実な企業活動を通じて、社会より支持を得る」を経営理念として、お客様の健全な消費活動や事業活動のサポートを通じて経済社会に貢献することを使命とし、「環境変化に応じた組織・制度の変革とデジタル技術の活用による、IT金融グループとしての成長」を目指しております。

そのため、デジタル推進・データ分析・デザインの3分野において、専門知識を持った人員の採用および育成の強化を進めております。これにより、各分野における内製化を推進することで、「顧客利便性・視認性の向上」「コスト削減」「対応スピード向上」を図っております。

また、当社グループが目指す姿の具現化のため、「収益性」「成長性」のバランスを重視した経営戦略を掲げております。

「収益性」の面では、安全性の高いアセットの積み上げ、効果・効率的な集客やBPR・RPAの導入によるコスト削減に努めており、指標として「ROA2%超」および「ROE10%超」を目標として掲げております。

「成長性」の面では、今後成長が見込まれる保証事業や海外事業の積極展開により、「営業アセット年間10%成長」を指標として掲げております。

当社グループを取り巻く経営環境におきまして、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う景気減速、ウクライナ問題の影響によるエネルギー価格高騰や世界的な金利上昇局面など、引き続き注視が必要な状況が続いておりますが、当社においては安定した収益を確保することで「安全性」をより高めつつ、経済活動の回復に伴う資金需要を取り込み、引き続き「収益性・効率性の向上」および「高い成長率」を目指してまいります。

今後も全てのステークホルダーの皆様の期待にお応えできるよう、全力を尽くしてまいります。

2023年6月
代表取締役社長
福田 光秀



1. 経営の自由度・迅速な意思決定
2. 多種多様なグループ商材
3. 長年培ってきた与信力・審査力

1. 経営の自由度・迅速な意思決定

独立系ならではのスピーディーな意思決定を活かし、国内外で事業ポートフォリオの多角化を図っております。

スピーディーな意思決定

2007年6月より執行役員制度を導入し、意思決定と業務の執行をスピーディーに行っております。急速に変化する時代の中で、柔軟かつスピーディーに意思決定をできることが独立系ノンバンクの大きな強みです。

事業ポートフォリオの多角化

お客様のニーズに合わせた商品やサービスを提供すべく、消費者向けや事業者向けのローン事業を中心に、クレジット事業、金融機関向け信用保証事業、アジアでの海外事業を展開しております。2021年7月にAGメディカル株式会社がヘルスケア業界を専門とした金融サービス事業を、同年9月にAGクラウドファンディング株式会社が貸付型クラウドファンディング事業を、2022年4月にAG住まいるリースバック株式会社が不動産リースバック事業を開始いたしました。また、2023年1月に少額短期保険事業を営む株式会社FPCが、同年3月にシステム・エンジニアリング・サービスを営むセブンシーズ株式会社がアイフルグループへ加わりました。事業多角化により、すべての顧客ニーズに応えるビジネスの創造を目指してまいります。

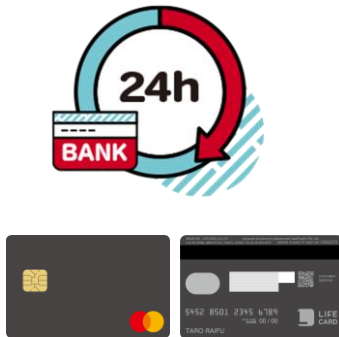
アイフルグループの事業

ローン・保証 	事業者ローン AG ビジネスサポート AG Medical	クレジット・保証 LIFE CARD AG キャランティアー	後払い決済 AG ミライハライ	クラウドファンディング AG クラウドファンディング
ベンチャーキャピタル AG Capital	サービサー AG 債権回収	企業再生 AG パートナース	リースバック AG 住まいるリースバック	倉庫業 AG スtockセンター
家賃保証 	少額短期保険 	システム・エンジニアリング・サービス 	海外 	

2. 多種多様なグループ商材

お客様視点でのサービス拡充のため、社員ひとりひとりが常にお客様の声に真剣に耳を傾け、お客様に必要な商品・サービスを考え、新たな商品を創造しております。

アイフルグループは、社員ひとりひとりがお客様と真剣に向き合い、自由な発想と創造性をもって商品を開発しております。キャッシングをご利用されるお客様の利便性を追求したスマホアプリや、いつでもどこでも振込が可能な24時間365日即時振込サービス、多様なニーズに応える数々の提携クレジットカードやVプリカなど、豊富な商品・サービスにてお客様視点でのサービス拡充を実現して参ります。



3. 長年培ってきた与信力・審査力

統計データを基にした「スコアリングシステム」と長年培ってきた「ノウハウ」を活かした与信力・審査力があります。

スコアリングシステム

スコアリングシステムは、当社が過去から蓄積した膨大な与信情報を基にお客様に迅速かつ均一的な与信提供を可能としたシステムです。長年培ってきたこのシステムを、ローン事業の与信判断や限度額・金利の設定を始め、保証事業、クレジットカード事業など、全ての与信に活用しております。



決裁者の目利き

与信に際しては「お客様本位」を第一とし、安心・適切にご利用いただけるように、環境や人柄まで、あらゆる情報をもって実態を正しく見極め、判断する必要があります。アイフルグループでは与信のプロとして決裁者教育を継続的に行い、お客様のニーズに最大限お応えしております。





ローン事業

アイフルグループは過去から培ったノウハウを活かし
お客様のニーズに合わせた「無担保ローン」「事業者ローン」を提供しております。

無担保ローン

アイフルの無担保ローンは、グループの強みである創造性のある商品開発に加え、「4S」でお客様のニーズにお応えしております。「4S」とは、お急ぎのニーズにお応えするSpeed（早くて便利）、申込み手続きや取引が簡単なSimple（簡単で便利）、お客様のプライバシーに配慮したSecret（知られず安心）、借入・返済時のカウンセリングサービスなどのSafe（安心・安全）、これらの4つのSで構成されております。

事業者ローン

アイフルグループでこれまで築き上げた与信ノウハウを活かし、多様な商品と明確かつ迅速な与信で法人や個人事業者の資金ニーズにお応えしております。具体的には、無担保・有担保いずれも融資可能なアイフルの「事業サポートプラン」、医療機関・調剤薬局・介護事業経営者のニーズにお応えしたAGメディカルの「診療報酬等担保ローン」など、多様な商品をラインナップしております。



お客様のニーズに合わせて
さまざまなチャネルを
提供しております。

クレジットカード事業

ライフカードは「Be Unique!」をコンセプトとし、枠にはまることのない
斬新な発想力で果敢に挑戦し、独自のユニークな商品・サービスを提供することで
お客様のニーズにお応えしております。

クレジットカード事業

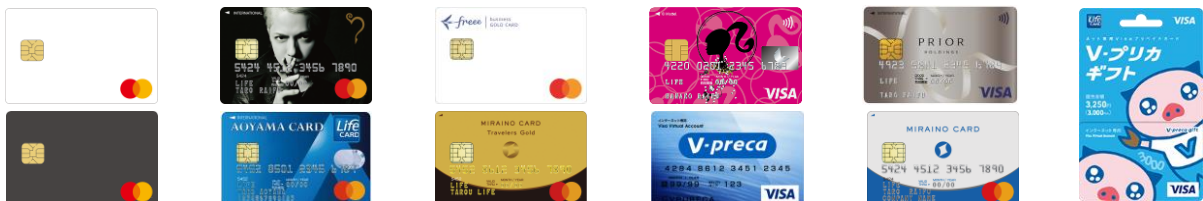
Mastercard、Visa、JCBとのライセンス契約により発行するライフカードは、国内はもちろん世界中の加盟店で利用が可能です。信頼と利便性を兼ね備えた、ユニークなサービスを提供しております。

Apple Pay、Google Payへの対応やアーティストとのタイアップ、クラウド会計企業、大学病院や銀行とのカード提携など、新たなサービス・付加価値に積極的に取り組み、お客様のニーズとライフスタイルにお応えしております。

プリペイドカード事業

インターネット上のVisa加盟店でクレジットカードと同様に使える「Vプリカ」は、ネット専用Visaプリペイドカードとして、2011年にライフカードが国内で初めて販売を開始しております。

本人確認や審査がなく、ネットショッピングやオンラインゲームなどにご利用される個人のお客様のほか、法人様のキャンペーンやインセンティブにも幅広くご利用されており、販売開始以降、2023年3月末現在で累計1,924万枚を販売しております。



保証事業

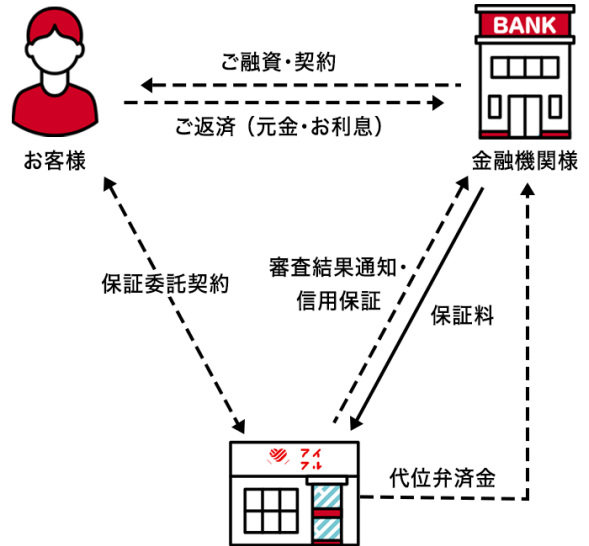
「アイフル」「ライフカード」ブランドの双方で、各金融機関と個人向け無担保ローン、法人・事業者向け事業者ローンの保証事業を行っております。

◇個人向け・事業者向け保証事業

金融機関との保証提携においては、各金融機関の地域におけるブランド力や安心感とアイフルグループが持つリテール分野での与信ノウハウを融合させたビジネスモデルを確立しております。

保証事業においては、「安全性」「収益性」「成長性」が高く、アイフルグループでは過去から培った与信ノウハウを活かし、主力事業の一つとして保証提携先の拡大に取り組んでおります。

2023年3月末現在での提携金融機関数は、アイフルで149行（個人向け105行、事業者向け105行）、ライフカードで158行（個人向け158行、事業者向け39行）となっております。



海外事業

日本で長年培ったノウハウを活かし、タイ王国、インドネシア共和国の2カ国で金融事業を展開しております。

AIRA & AIFUL (タイ王国)

2014年12月にタイ王国の現地法人であるアイラキャピタルと、合弁会社「AIRA & AIFUL Public Company Limited」を設立し、2015年10月より「A Money」ブランドで消費者金融業を開始しております。2022年12月末時点の貸付残高は293億円、店舗数は45店舗となりました。



REKSA FINANCE (インドネシア共和国)

2017年5月にインドネシア共和国で中古車オートローン事業を取り扱うREKSA FINANCEの株式を取得し、経営に参画しました。現在は営業アセット拡大に取り組んでおります。

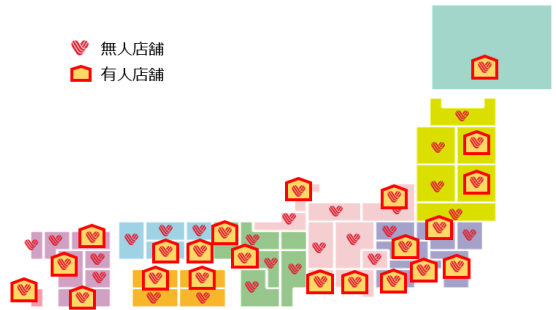


ネットワーク

店舗網

全国に無人店817店舗を展開しております(2023年3月31日現在)。

2019年4月より、有人店では法人営業組織としてアイフルグループ内の法人向け商材の販売も開始しており、ライフカードの加盟店募集や法人カードの営業、AGメディカルの診療報酬担保ローンの営業など、当社グループの商材を柔軟かつスピーディーに販売し、更なる営業拡大を目指しております。2023年3月末時点では23営業店を展開しております。



自社・提携ATM

ご利用可能なATMは、自社ATM249台、提携ATMは99,983台に上り、お客様の利便性確保に努めております(2023年3月31日現在)。また、自社ATMはライフカードやAGビジネスサポートのお客様もご利用可能となっております、グループメリットを活かしております。



(京町家風の店舗「四条大宮店」)

てまいらず



「無人契約でんわBOX てまいらず」は、従来の自動契約機とは違い、お客様が機械を操作する必要がありません。BOX内に設置してある電話で直接オペレーターと手続きを進めますので、申込みから契約に至るまでの時間が短縮されております。時間が無いお客様など、お客様のニーズに合わせた契約ルームとなっております、全国で856箇所に設置しております(2023年3月31日現在)。



スマホアプリ

アイフルでは、お客様との接点として重要なスマートフォンにおいて、スマホアプリを2018年5月にリニューアルしております。

お客様の利便性向上のために申込みから契約に至るまでWeb完結が可能のほか、安全性のために生体認証によるログイン、全国のセブン銀行・ローソン銀行での入金時のカードレス取引、リアルタイムでのご利用状況の確認などを導入しております。

アプリをカードの代わりにご利用いただくことで、お近くのセブン銀行ATM・ローソン銀行ATMからお借入れやご返済が可能です。

24時間365日即時振込サービス

2020年12月より、振込融資サービスを刷新し、原則"24時間365日"・"即時振込"の対応が可能となるサービスを開始。

夜間・土日祝問わず「いつでも」、外出先から場所を問わず「どこでも」、はじめてご契約される方など「どなたでも」即時のお借入れが可能となることで、お客様がより便利に当社を利用頂けることを目指しました。



コンタクトセンター

コンタクトセンター（滋賀県草津市）では、「てまいらず」での受付、Web申込の受付、各種問い合わせ対応などお客様対応・事務業務を集約した営業体制を構築しております。

また、支払案内などは電話とコンピュータを統合した架電システムの「CTI」と「ショートメッセージサービス」や自動音声案内サービスの「IVR」を連動させた「ロボットコール」を導入し、全国のお客様からのご相談・ご要望を承っております。



一般的に、「IVR」はお客様からの受電のケースのみで使用されますが、アイフルでは、お客様へ連絡する場合にも「IVR」や「ショートメール」での案内を行っております。

ロボットコールの導入により、回収にかかる人員数を削減した一方で、お客様への架電数は増加しており、回収業務の効率化と生産性の向上が図れております。

お客様の声のデータベース化

アイフルグループではお客様からのご意見・ご要望などを「お客様の声」として蓄積し、データベース化を行い、サービス向上やお客様の多様な資金ニーズにお応えできる、利便性の高い商品開発に役立てております。



テレビCM

アイフルへの「誠実さ」「安心感」「信頼感」を抱いて頂くために、「愛がいちばん。」をキャッチコピーに、女優の「大地真央」をメインキャラクターとしてテレビCMを展開しております。





アイフルグループはESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組みを推進し、私たちを支えてくださる社会、一緒に働いている社員、取引先様、そしてご出資頂いている株主の皆様に対し、その期待に応えるとともに、全ての事業活動を通じて社会に貢献してゆくことを使命とします。

Environment 環境



エネルギー使用量の管理

アイフルグループでは環境問題への取り組みの一つとして、エネルギー使用の削減を図り、使用量を管理しております。

カードご利用明細Web化などの省資源

クレジットカードご利用代金明細書のWeb化により、ペーパーレスで環境に配慮したサービスを推進しております。

COOL CHOICEへの賛同

アイフルグループは地球温暖化防止に向けて政府（環境省）が推進する国民運動「COOL CHOICE」に賛同しています。主な取り組みは以下の通りです。

■実施

- クールビズ・ウォームビズ
- 草津センター全館の照明機器をLED化
- エレベータ間引き、エアコン稼働時間の集中管理

Social 社会

ハッカソンへの後援

さまざまな専門分野の人材支援、協働活動を通じて「社会・地域との共生」を深めるべく、2019年3月よりハッカソン（aihack）への後援を開始しております。

aihackの「a i」は、将来を担う学生や様々な専門分野の人材に「関心を示す=愛」、テクノロジーを連想させる「A I」という2つの意味を込めています。

国内における学生向けの他に、タイ王国でローン事業を展開しているAIRA&AIFULが、チュラロンコン大学の学生へ向けたハッカソンも開催しており、国内だけでなく海外拠点においても地域社会への貢献を目指しております。



クレジットカードを通じた社会貢献

ライフカードでは社会貢献型クレジットカードを発行しており、収益の一部を提携団体やNPO法人に寄付しており、ポイントプログラムにおいてチャリティーコースを設け、会員様からのポイントによる寄付も受け付けています。また、武蔵小山商店街パルムと提携し、プリペイド機能を搭載したカードを発行しています。これにより、武蔵小山商店街を利用するお客様の利便性向上や地域経済の活性化を目指しています。



ソーシャルファイナンス・フレームワークの策定

アイフルグループは経営理念に基づき、ファイナンシャル・インクルージョンをコンセプトに商品開発へ取り組み、将来を夢見て新たなチャレンジを行う企業をサポートして国内産業の発展に貢献すると同時に、高齢化によって大きな社会課題となっている国内の医療、福祉分野への事業支援や、金融インフラが未成熟な新興国における金融サービスへのアクセスの提供も行うことで社会へ貢献すべく取り組んでいます。

こうした取り組みを加速させるべく、2023年3月に、消費者金融業界では初となる「ソーシャルファイナンス・フレームワーク」を策定いたしました。

Governance ガバナンス

リスク管理委員会

代表取締役社長を委員長とし、全ての取締役にて構成され、適正なリスク管理体制の構築によるリスクの未然防止および危機時の損失抑制を目的として、定期的にリスク状況の報告を受けて常時リスク把握を行うとともにリスク管理体制の不断の見直しを実施し、取締役への報告等を行っています。原則として四半期毎の開催とし、必要に応じて臨時委員会を開催しています。

外部通報窓口

公益通報者保護法その他関係法令の主旨に則り社内通報制度規程を定め、お取引関係にある法人、企業、団体等にお勤めの方を対象とした通報窓口を設置しています。

コンプライアンスとコーポレートガバナンス

「法令遵守に留まらず、全てのステークホルダーの期待に応えること」がアイフルグループのコンプライアンスです。ステークホルダーをはじめ社会から信頼される企業となり、透明性・公正性・効率性を兼ね備えた企業経営を実現することを「コーポレートガバナンス」の重要な目的としております。

コンプライアンス体制の整備

アイフルでは、社外委員(弁護士)を含むコンプライアンス委員会(定期開催)を設置し、コンプライアンスプログラムの策定・管理、内部管理態勢向上のための各種施策の検討・協議、その他情報収集や予防措置の実施、社員教育方針に関する意思決定を行っております。

グループコンプライアンス体制の整備

グループ全体において、統一した企業倫理を共有しコンプライアンス体制を確立することを目的に「アイフルグループコンプライアンス委員会」を設置しております。



会社概要

(2023年3月31日現在)

会社名

アイフル株式会社 (AIFUL CORPORATION)

本社所在地

京都市下京区烏丸通五条上る高砂町381-1

創業

1967年4月

資本金

940億円

代表者

代表取締役社長 福田 光秀

事業内容

ローン事業 (無担保、事業者)、保証事業

上場年月

1998年10月 (証券コード: 8515)

決算期

3月

貸付金残高

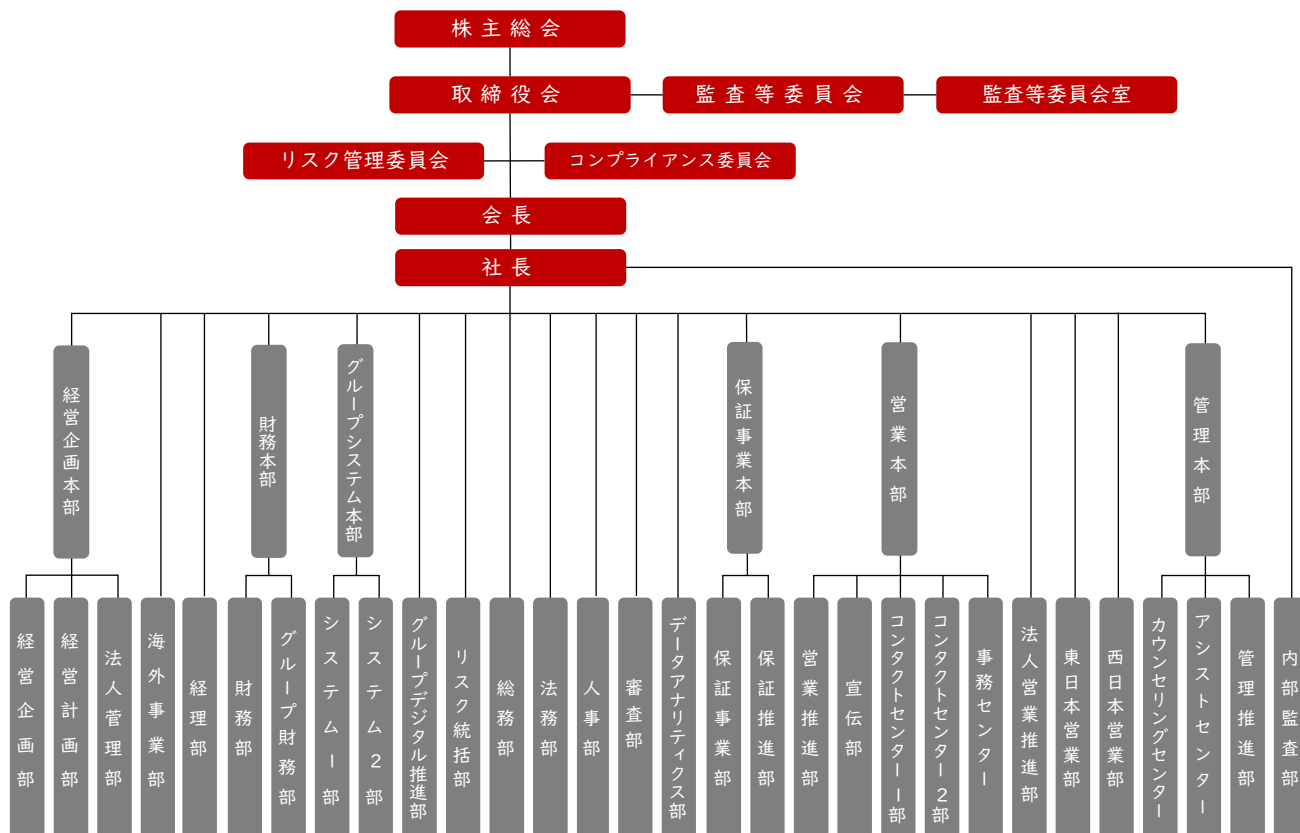
(単体)5,028億円 (連結)6,487億円

社員数

(単体)1,059名 (連結)2,180名

組織図

(2023年4月1日現在)



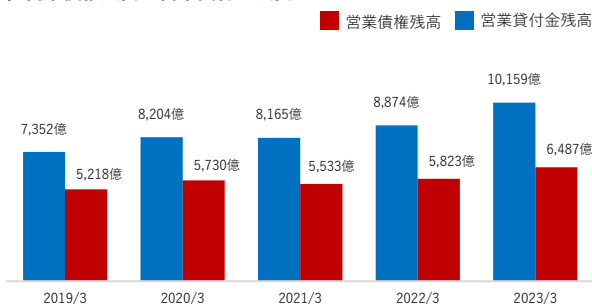
沿革

1967年	4月	現会長福田吉孝が個人経営の消費者金融業を創業
1978年	2月	株式会社丸高（現アイフル株式会社）を設立し、九州地区3店舗及び京都市1店舗で営業開始
1982年	5月	株式会社丸高が関連会社3社を吸収合併。同時に、商号を「アイフル株式会社」に変更
1985年	3月	第1次スコアリングシステム（自動与信システム）導入
1994年	11月	ハートフルセンター（現コンタクトセンター）の開設
1995年	3月	自動契約受付機「お自動さん」を神田北口店、池袋西口店に設置
2000年	3月	東京証券取引所市場第一部に指定
2001年	1月	ビジネクスト株式会社（現AGビジネスサポート株式会社）を設立
	3月	株式会社ライフ（現ライフカード株式会社）の完全子会社化
	11月	「アストライ債権回収株式会社（現AG債権回収株式会社）」を設立
2004年	3月	国際キャピタル株式会社（現AGキャピタル株式会社）を完全子会社化
2011年	7月	グループ再編を実施
2014年	1月	ライフギャランティー株式会社（現AGギャランティー株式会社）が割賦保証業務を開始
	12月	タイ王国の現地法人であるアイラキャピタルと合併会社「AIRA&AIFUL Public Company Limited」を設立
2017年	5月	インドネシア共和国で中古車オートローンを取り扱うREKSA FINANCEの株式40%を取得
2020年	6月	後払い決済事業を行うAGミライバライ株式会社を設立
2021年	4月	2007年に策定した理念体系を再構築し、「VISION/MISSION/VALUE」を設計
	7月	診療報酬等担保ローン事業を営むAGメディカル株式会社が営業開始
	9月	貸付型クラウドファンディング事業を営むAGクラウドファンディング株式会社が営業開始
2022年	4月	東京証券取引所 プライム市場へ移行 不動産リースバック事業を営むアイフル住まいるリースバック株式会社（現AG住まいるリースバック株式会社）を設立
	7月	グループVIを刷新/新たな「アートシンボル」と「社名ロゴ」を発表
2023年	1月	ペット保険事業を営む株式会社FPCの株式を取得（子会社化）
	2月	アイフルビジネスファイナンス株式会社（現・連結子会社化）が「AGビジネスサポート株式会社」へ商号変更 ライフカードVIを刷新し、新たな「アートシンボル」と「社名ロゴ」を発表 ライフカード16年振りの広告（CM）展開
	3月	SES事業を営むセブンシーズ株式会社の株式を取得（子会社化） 12年ぶりに連結営業債権残高1兆円を突破

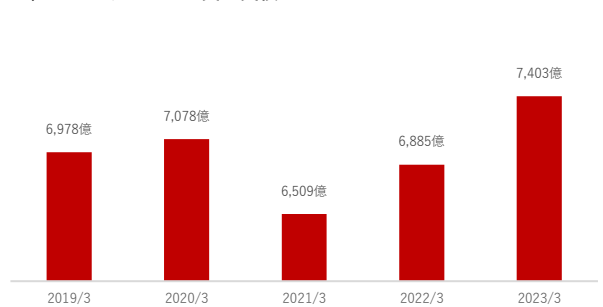
財務データ（連結ベース）

（2023年3月31日現在）

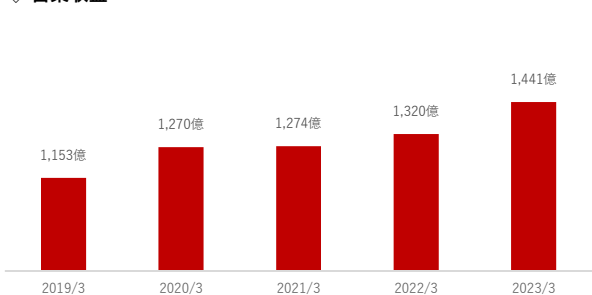
◇ 営業債権残高・営業貸付金残高



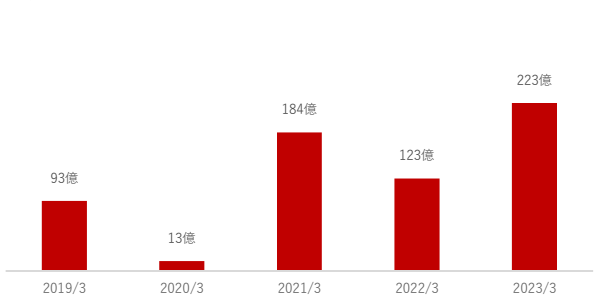
◇ クレジットカード買上実績



◇ 営業収益



◇ 親会社株主に帰属する当期純利益





〒600-8420

京都府京都市下京区烏丸通五条上る高砂町381-1

TEL 075-201-2000

<https://www.aiful.jp>

<https://www.ir-aiful.com/>